

『きっと、うまくいく』～3人の賢者の選択～

「世界を変えるのはあなたかも？ 国際協力体験ワークショップ」参加（JICA 中部主催）

令和3年10月30日(土)

時短解除後の名古屋駅は、はなやかだ。「嚴重警戒宣言」が17日で解除され、引き続き感染防止対策の徹底が求められているものの、街には活気が戻ってきている。並木の上に踊るように輝く秋の日差しのもと、多くの若者たちもなんとなく浮かれ気分で歩きたいのだ。そうではない選択をしたのが、本校の3人の女子生徒である。彼女たちは、グルメショップではなくワークショップを選択したのだ。



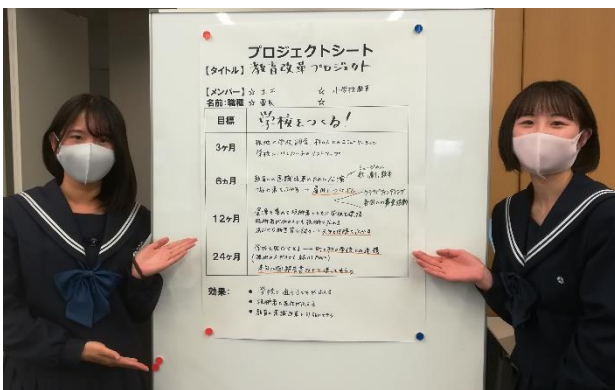
ワークショップの流れ

- ・セネガルにチームで派遣された協力隊員
- ・現地の困りごとを見つける
- ・困りごとを解決するための目標を立てる
- ・目標達成に必要な取組を考える
- ・職種を決定する
- ・2年間で行う活動計画を作成する
- ・各グループで作成した計画を発表する

場所は、笹島にある JICA 中部。20 名弱の中高生が集まったこのイベントが彼女たちの舞台である。まず、それぞれの簡単な自己紹介やゲームでグループ分け。各グループは3～4名だ。そのグループで役割を決め、いよいよ国際協力体験ワークショップへと進む。セネガルの少女の手記を読み、その少女の困りごとを参加者それぞれが付箋に記入。さらにそれをカテゴリー別に分類。その中から、各グループで解決のために取り組む項目を決め、活動計画（プロジェクト）を作成するのである。

取り組み始めてからわずか1時間弱で、次のような秀逸なプロジェクトが発表された。

★伊藤さんと田中さんのグループの発表（プロジェクト名：学校をつくろう！）



最初の3カ月

現地の学校調査、学校構築の前に村人との人間関係構築

学校にいけない子供のリストアップ (good!!)

6カ月

教育への意識改革のための演劇や歌の公演（教育のメリット）
協力者を増やし雇用促進、クラウドファンディングの実施

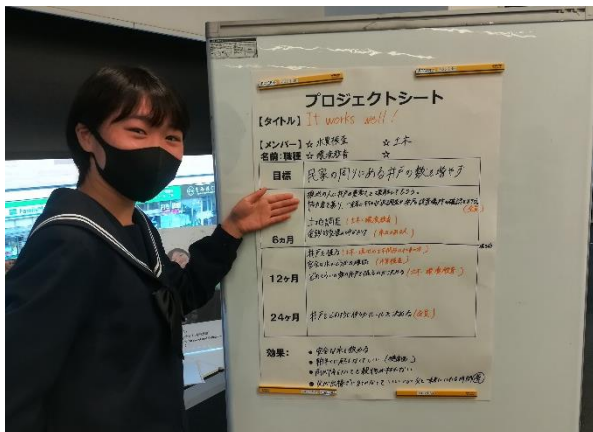
12カ月

資金や技術者を集めて学校建設

あおぞら教室を試して、先生と生徒の増加期待

そして24カ月目には、学校の完成、町や村と学校の連携、学校持続のための半年1回の報告書提出の義務付け

★小山さんのグループの発表（プロジェクト名：*It works well! きっと、うまくいく）



最初の3カ月

現地の住民に対して井戸の重要性の啓発

村人とともに井戸の設置（掘削）場所の確認

6カ月

土地調査、環境（公衆衛生）調査、金銭的支援の呼びかけ

12カ月

井戸の掘削作業（土木関係者）

安全な水かどうかの確認、水質検査実施

井戸の必要数の再確認

そして24カ月目には、井戸が完成、最終的に、井戸をどのように使うかのルールづくり (good!!)

*プロジェクト名の、It works well! にある well は、「井戸」を表す英語が well であることを踏まえている。

「きっと、うまくいく」は原題が Three idiots のインド映画。今回は副題に「3人の賢者」として表現してある。